

## 【調査研究】

## 大分県全車禁煙タクシー6年目の経営者調査報告

伊藤 裕子<sup>1)</sup> 伊藤 彰<sup>2)</sup> 三浦 秀史<sup>3)</sup> 高橋 裕子<sup>4)</sup>

キーワード：禁煙タクシー・経営者調査・アンケート・大分県

## 【はじめに】

2002年の健康増進法成立に伴い、2003年から始まった「健康日本21」の推進は、改正を加えながら現在まで効果的に推進されてきた。この健康増進法第5章第2節に記載された受動喫煙の防止の対象施設の中に、交通機関も含まれていることから、大分県タクシー協会では2006年に全車禁煙化を実施した。その1年経過後の2007年には、タクシー全車禁煙後の状況を把握するために、禁煙健康ネット大分（kk大分）・奈良女子大学高橋研究室合同で大分市のタクシー協会に所属する経営者調査を実施し報告している<sup>1)</sup>。前回調査結果では、市内のタクシーの全車禁煙化から1年が経過した当時、タクシー会社の経営者は全車禁煙化をおおむね肯定的に捉えており、職場環境の改善につながったと認識している者が多いことが明らかになった。今回は、大分県内のタクシー全車禁煙化後6年目の経営者調査として、大分県内のタクシー会社の経営者に同様の調査を実施したので報告する。

## 【方法】

2012年12月3日に開催された大分県タクシー協会総会に出席した経営者を対象に質問紙調査を実施した。調査の内容は平成20年に実施した調査とほぼ同様とし、「あなたは、社会全体が禁煙に向かって進んでいることに関してよいと思っていますか？苦々しく感じていますか？」という項目を追加した。

統計解析にはExcel2010を使用し、有意差検定にはt検定を用いた。

## 【結果】

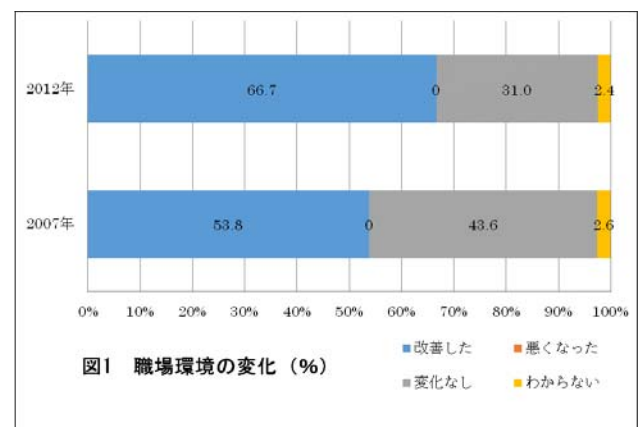
総会に出席した50名のうち44名の経営者から回答を得た。回収率は88%である。

職場環境について、「改善した」との回答が前回の53.8%から今回は66.7%に増加した。（図1）

全車禁煙について、総合的に「とても良い」「良い」との回答者が前回は66.7%であったが今回は86.4%と増加し、圧倒的多数の会社が「全車禁煙はよいこと」と考えている。（ $p<0.05$ ）（図2）。

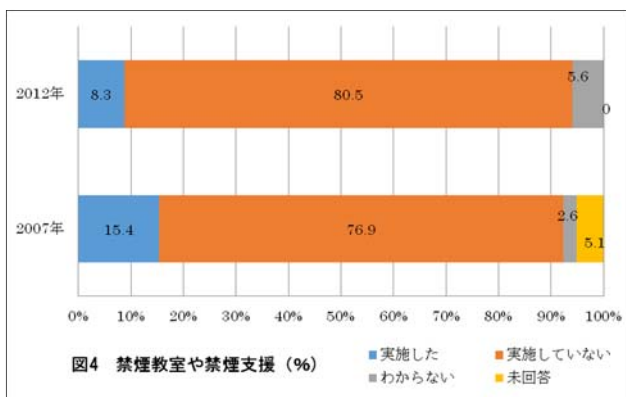
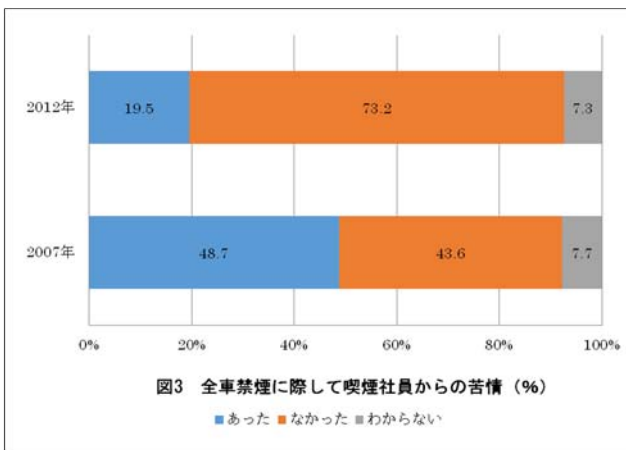
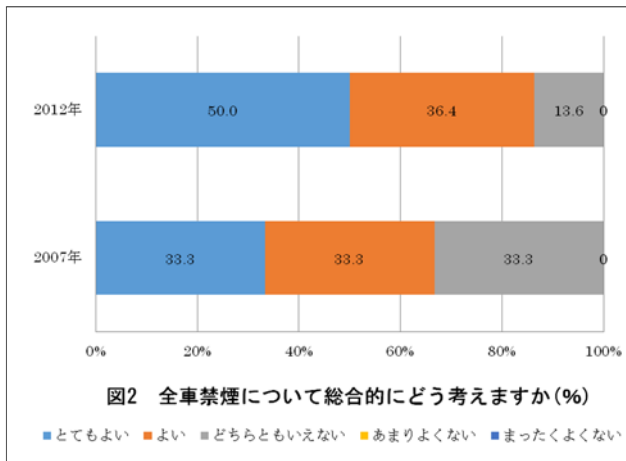
喫煙社員からの苦情について、前回には「あった」との回答が48.7%見られたが、今回は19.5%と有意に少ない。（ $p<0.01$ ）（図3）。

一方、会社社屋の禁煙について、「自由に喫煙できる」との回答は前回の33.3%から今回は16.2%に減少したものの（図4）敷地内禁煙を実施している会社はなく、受動喫煙防止対策は不十分であった。また禁煙についての講習会や学習会、禁煙教室や禁煙支援の提供の実



1) 禁煙健康ネット大分 代表世話人  
 2) 禁煙健康ネット大分 世話人  
 3) 禁煙健康ネット 事務局長  
 4) 奈良女子大学 教授  
 論文初回提出日：2013年4月9日

責任者連絡先：伊藤 裕子  
 大分県大分市大石町4-1-2 (〒870-0851)  
 禁煙健康ネット大分  
 伊藤内科医院  
 E-mail: [hiroko819@car.ocn.ne.jp](mailto:hiroko819@car.ocn.ne.jp)

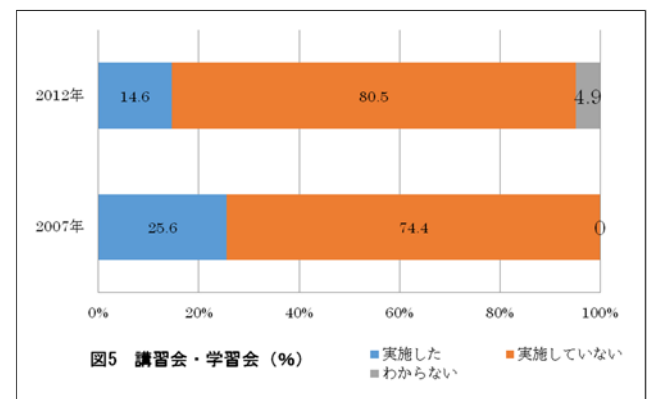


施が日本で最初であった。大分市、臼杵市、津久見市、中津市、竹田市、杵築市、豊後大野市、国東郡、速見郡が2006年4月1日に、別府市が2006年7月1日に、そして14ヶ月後の2007年6月1日には最後まで残っていた日田市と豊後高田市、玖珠郡がタクシー全車禁煙化し、これによって大分県全体でのタクシー禁煙化が実施されるに至った。大分県タクシー協会が先陣を切って実施したタクシーの全車禁煙はその後全国に広がり、日本のタクシー禁煙化に大きく寄与した。

今回の調査において、過去資料として比較できる厳密に一致した資料はないため、対象はやや異なるが、大分市タクシー協会のデータを比較の対象とした。

なお大分県タクシー協会の登録台数は、調査をした2012年12月現在2217台、大分市タクシー協会の登録台数は835台であり、大分県タクシー協会登録台数の37.7%を大分市タクシー協会が保有している。

県全体でのタクシー全車禁煙化から6年が経過した現在、ほとんどのタクシー会社が「全車禁煙はよいこと」と考えていることが分かった。また職場環境の改善、喫煙社員からの苦情の減少など、タクシー全車禁煙化はタクシー会社や従業員にもメリットが大きなものであると



施率にも変化はみられなかった(図5)。ここ一年くらいの社員の喫煙率は男性57.7%、女性20.2%と男女とも全国平均をかなり上回る数値であった(図6)。

【考察】

公共の乗り物のひとつであるタクシーは、車中は狭い空間であり、喫煙により高濃度の汚染物質が車内に充満し<sup>2)</sup>、窓を開けたとしても受動喫煙を完全に防ぐことはできない<sup>3)</sup>。

行政区域単位でのタクシー全車禁煙化は大分市タクシー協会(漢二美会長)による2006年4月の大分市での実

